

序

漢和辞典はこれまで中国古典語を中心に字義・熟語などが記述されてきた。しかし、現代において漢和辞典に求められているものはそればかりでなく、現代日本語の表現としての漢字・漢語さらには中国・韓国など漢字文化圏における漢字使用など、現代の文字生活に広く用いることのできる利便性であろう。このような視点から、従来の親字の部首引きではなく、親字の読み、主としてその音（字音）で引いて簡単に早引きできるように五十音順に配列し、字義・熟語の意味記述も現代語に重点を置いて編集したのが本書である。

初版においては、新たなタイプの読みやすい漢和辞典として好評をいただき、このたび改訂を加えて第二版を刊行する運びとなった。そこで、親字を追加して約六四〇〇字を掲げ、字義や語義、近代漢語の由来についても解説を充実させる一方、常用漢字・人名用漢字については漢字の成り立ちを新たに載せ、韓国漢字音も大幅に追加するなど、現代の日常生活における漢和辞典としてより一層の使いやすさ、わかりやすさを実現することに努めた。また、親字の音訓をすべて含む音訓索引や総画索引に加えて、部首索引を付し、さまざまな面から引ける工夫も図った。

このように、本書は中高生の日常の漢字学習はもちろん、熟年層の生涯学習にも役立つように、広く社会一般の方々の言語生活に資するべく編集することを旨とした。この辞典が読者の座右に置かれ、日々活用されることを念じてやまない。

二〇一四年一月一日

編者